

県立広島大100周年祝う



記念式典であいさつする森永学長（奥中央）

2年遅れ式典に250人

県立広島大（広島市南区）

の「創立100周年記念式典」

が11日、広島市中区の

ホテルであった。同窓生や

教育関係者、包括協定を結

ぶ市町の首長たち約250

人が参加した。

式典で森永力学長は「地

域に根差し、県民に信頼される大学を目指してきた。今後も次代を担う若者の育成と地域社会の発展に貢献したい」とあいさつ。広島県の湯崎英彦知事は「時代の変化に柔軟に対応し、地域社会の核を担う人材を育ててほしい」と述べた。続いて祝賀会があり、テノール歌手錦織健さんが歌声を披露した。

同大は2005年4月、県立広島女子大、広島県立大、県立保健福祉大が統合してできた。そのうち同女子大の前身が最も歴史が古く、1920年に設置された。式典は2020年6月に開く予定だったが新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ延期されていた。

（余村泰樹）